

iPadを使って



『できた！』を増やす



これがあればできるよ！

「自分」で理解する 「自分」で行動する

大阪府立寝屋川支援学校 日置節子

児童の実態

- 小学部 4年生 男子
- 知的障がいを伴う 自閉症
- 絵本の短文が読める
- 要求や状況を単語で伝えることができる
- 視覚からの情報入手が得意

最初にお伝えしたいこと

- iPad (iPhone) を使い始めて1年3ヶ月



①昨年6月～現在の使い方

動画

・・・日常生活に必要な動作を「動き」で示すため

②今年5月～現在の使い方

タイマー

スケジュール

・・・見通しを持って活動するため

時計の学習

・・・自学自習をするため

児童の困難 ①

毎日の日常生活動作が、やり遂げられない（歯磨き、鞆の整理、着替えなど）

寝転んだり、その場を離れてしまったりして、活動が続かなくなる

最後は担任が直接手伝っていた

困難の背景にあるもの

これまで、何度も取り組んでいるが...

➡ 繰り返すことが積み重ねとなりにくい
記憶をたよりに行動に移す力が弱い？

イラスト、文字カードを使っているが...

➡ 視覚支援が機能しきれていない
情報を獲得できていない？

担任の願い

「自分」で、自信を持って、歯磨きや鞆の整理などをやり遂げてほしい



どうしたらいい...？

動画を使ってみよう



のカメラ機能を使って



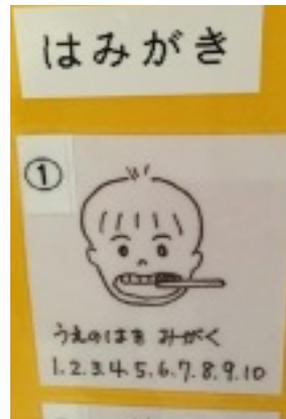
きっかけは歯磨き

昨年6月

学年での歯磨き学習

一斉授業で動画を見ながら
歯ブラシを動かす兆しがあった

支援方法を動画に



歯ブラシを絵の通り
あてたまま、動かそう
としなかった

あまり時間もかからず
動画に合わせて歯磨き
ができた！



昨年6月 動画を使った、最初の取り組み

なぜiPadの動画でならできたのか？

- **動き**がイメージできる
- 動きに合った**音声**が聞こえる
- 対象が**フレーム**に区切られている



iPad

なら動画を...

- 子どもが**自分**で操作できる
- 担任は**簡単**に作れる



昨年6月からの取り組みの具体例①

- ・ 動画を使ってできることを増やそう

①使う場面を増やしてみる

歯磨き、靴の片付け、エプロン・体操服への着替え

②一斉授業で使ってみる

図工、調理の手順

③家でも動画を使用する（歯磨き）





昨年6月からの取り組みの具体例②

・動画を自分で操作してみる

①iPhoneに持ち替えて自分で操作する

②使うタイミングを自分で決める

担任が手渡す → ロッカーに自分で取りに行く

③好きな動画のタイプを選ぶ





最近できたこと





6月30日 下校前の、鞆の片付け



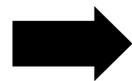
iPhoneで動画を見ながら、荷物をつめる

鞆への荷物詰めができるようになるまで

袋の素材を固くして、入れる練習を繰り返す

袋やチャックの操作が上達

支援方法を動画に



動画のモデルを、本児から担任に変えるなどの変更をしながら使用



動画を考える

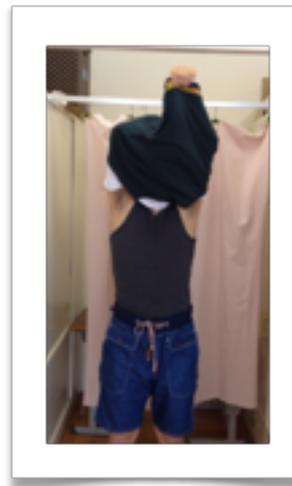
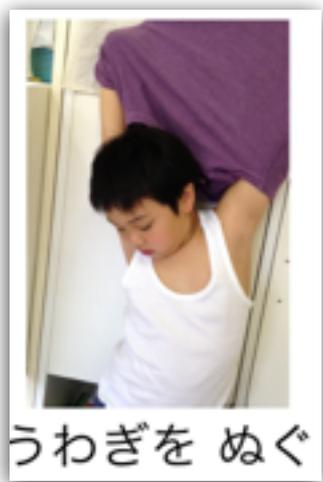


動画を使いながら考えたこと①

どんな動画が分かりやすいのか？

行動に影響するポイント

- モデルの動きの滑らかさ・テンポ



結果:モデルを担任に変更し、動きがスムーズになったことでスムーズに活動できた

動画は児童に合う内容の精選が必要

- モデルの動きの滑らかさ・テンポ
- 音声
- 区切り方・つなげ方
- 全体の長さ
- できたことのフィードバック

動画を使いながら考えたこと②

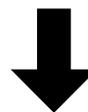
動画でなくてはいけないのか？

動画は他の方法に変わっていくのか？

あるできごとがありました

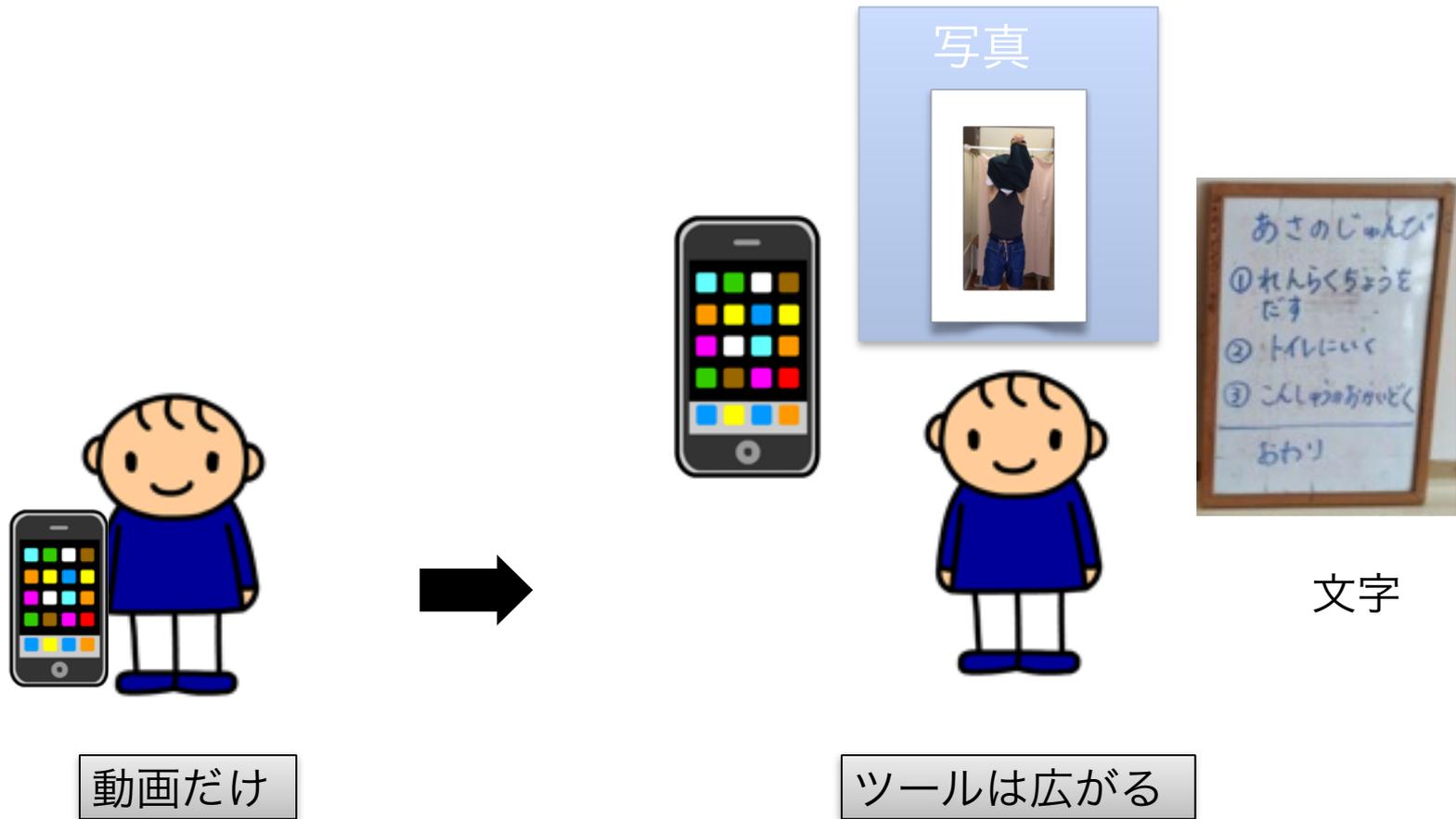


歯磨き動画が動かず
パニックに...



動画との関わりが**強すぎ**？

長期的に一つの活動を繰り返していくと...変化が！

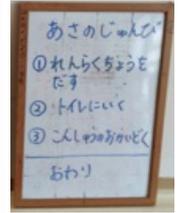


結果:動画との関わり方は変化していく

動画は「理解・行動・安心」のためのツール



「理解する」
「やってみる」
「覚える」
「自信をつける」



「方法を広げる」
「選択肢を広げる」
「生活しやすさ」に
つながる



時間を学ぼう



のスケジュール・タイマー・

時計学習アプリを使って



児童の困難②

活動への見通しを持ちにくい

好きな活動の順番を待つことが苦手

活動への見通しが持てなくなると、不安定になる

担任の願い

- ・ 不安定にならず、最後まで活動を楽しんでほしい

児童自身の時計への興味

今年5月頃～

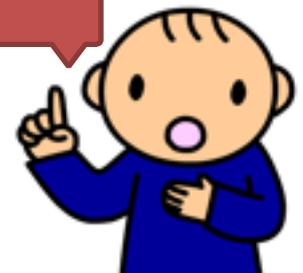
- 正時を伝えてくるようになる

だが...

- 時間への理解が「正時を読む」ことにとどまっている



〇じ



本児にとって「時間を学ぶ」とは？

【時間の感覚を学ぶ】 こと



「待つ」体験の中で時間を学ぼう

～時間は過ぎていくことを実感する～



自分の番を待つ

- ・タイマーが減る様子を見るとソワソワも軽減する

- ・時計版も併用



アプリ：
タイムタイマー

スケジュールを意識しながら時間を学ぼう

〔朝の生活の時間〕

～予定は一つずつ確実に終わることが分かる～



- ・ 終わるたびにチェックを入れる
- ・ 音声でも確かめ
- ・ iPadが無い時はボードでも代用



アプリ：
ドロップトーク



時計への興味をつなぎながら時間を学ぼう

～時計が「見通し」の手段になるように～



- ・ 家庭での時計文字盤あそび
数字を丸く並べて遊んでいた
- ・ iPadに撮影されてきた動画
- ・ iPadが家庭と学校をつなぐツールに



6月8日

自ら学習へ向かう力をつけながら時間を学ぼう 〔朝学習〕



6月16日

- ・ 家庭での遊びと同じ活動（数字を並べて文字盤を作る）が含まれるアプリを見つけた
- ・ 音声・フィードバックがあり次第に、楽しい学習になる
- ・ 間違いを嫌がる傾向があるが、ヒント機能を使って、安心して取り組む



アプリ：
時計くみたてパズル

時計の読みを段階的に学習できる



最近のできごとから

これまでの実践が繋がった！

こんなことがありました。



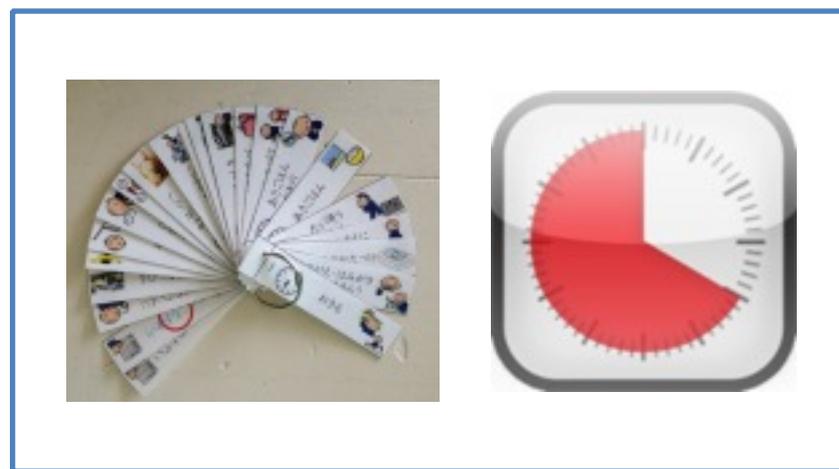
自分で「理解」して「行動」できた①

7月23日24日 初めての宿泊学習



動画を使って、事前学習を繰り返す（一斉授業で）

宿泊まで



日中活動、宿舎で、スケジュール・タイマーを見ながら落ち着いてすごす

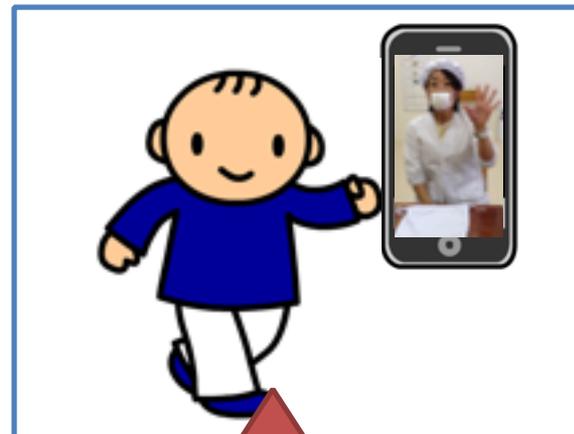
宿泊当日

自分で「理解」して「行動」できた②

7月 給食までの休み時間



担任の言葉かけがなくても、もうすぐ給食と気付く



ロッカーにiPhoneをとりにいく



動画を見ながら、エプロンに着替え



最後に

興味を
持ちやすい

手軽に
作れる・使える

動画なら
分かる人もいる

動画

多くの人に
分かりやすい



全てが解決する
わけではない...

関わり方に
ちょっと注意！

これからも、iPadを使って
『できた!』を
増やしていきたいです

